

中島さん、歴史的建造物修復

保護で功績、文化庁長官表彰



文化財保護の功績がたたえられ、本年度の文化庁長官表彰に選出された中島紀于さん＝中津川市加子母

10日発表された本年度の文化庁長官表彰で、中島工務店社長の中島紀于さん(80)＝中津川市加子母＝が選ばれた。約40年にわたり社寺建築を中心に全国の歴史的建造物の修復に携わり、貴重な文化財の保護と技術者の育成に尽力した功績が評価された。

(稲木悠司)【本文記事22面に】

社寺建築を中心 技術者の育成も

文化庁長官表彰は、文化活動で優れた成果を発揮し、文化振興や海外発信、国際交流に貢献した人に毎年贈られる。

中島さんが社寺建築に関わったのは、1988年に安弘見神社(同市蛭川)の拝殿新築工事を手がけたことがきっかけ。現在も鎌倉

五山の筆頭・建長寺仏殿(国重要文化財)の修復、岩手県の旧朴館家住宅(同)修復などの作業が進行中で、歴史的価値が高い建物の保全に取り組んでいる。長年培った社寺建築の技術は海外でも生かした。宮大工を連れてブラジル・サンパウロ市に渡り「日本館」

の修復を2015年まで4回にわたる工事で完成させた。建物は日伯友好の象徴として愛されている。

中島さんは表彰について「地道にこつこつと続けてきた成果が認められた」と話し笑顔を見せた。「自分の手で造ったものが500年、千年と残っていく意義のある仕事だ。高い志を持って集まってくれた、優秀な若手の励みになるとうれしい」と語った。

本年度の文化庁長官表彰

県内4人を選出

文化庁は10日、文化活動で優れた功績を上げた人や団体に贈る2025年度の文化庁長官特別表彰に、

ツクバンド「THE ALFEE」や作曲家の千住明さんら、6人と3団体を選んだと発表した。長官表彰

として80の個人・団体も選んだ。特別表彰は、特に発信力が強い人や団体をたたえる。

県内からは、左官工として著名な重要文化財の保存修理に長年携わってきた天

池三郎さん(加茂郡)、日本宗教連盟理事や全日本仏教会理事長、学校法人真宗大谷学園理事長を務めた里

雄康意さん(海津市)、国

の重要無形文化財「本美濃紙」の保存などに力を注ぐ本美濃紙保存会長の鈴木豊美さん(美濃市)、大工棟梁として社寺建築を中心に重要文化財や名勝の保存修理に関わる中島工務店の中島紀于さん(中津川市)の4人が長官表彰に選ばれた。

1988年に旧蛭川村安弘見神社拝殿の建て替え工事が社寺建築との出会いだった。その後岩村城櫓門の復元、岐阜公園三重塔解体修復、御嵩町願興寺本堂解体修復、豊川閣妙厳寺法堂・位牌堂の建て替え、神戸市舞子公園の旧木下家修復・旧武藤家解体修復・孫文記念館（移情閣）修復、神戸市北野異人館通り風見鶏の館・萌黄の館・旧アメリカ領事館の修復、吹田市旧西尾家住宅の修復、鎌倉市建長寺の本殿修復、岩手県一戸町朴館家修復、東京都豊島区立教学院江戸川乱歩邸修復、千葉県香取神宮宝物殿修復等の文化財修復や全国の社寺の建て替え、修復工事をやってきた。海外ではブラジルサンパウロ市の日本館修復を四十年余りボランティアでやっている。又サンパウロ市ジャパンハウスの建築とメンテナンスも続けている。

この37年間、難しい、厳しい、辛い仕事に立ち向かってやってきた皆さんの努力のお陰でこうして栄えある賞を戴けました。

皆様のご苦勞に心から感謝します。更にこれからも、若い人達を先頭に我々の経験や知恵も生かし乍ら新しい戦力でこの仕事に立ち向かって行きたいと思います。

宜しくお願いします。

令和7年12月17日

かしもむら なかしま のりお

表彰状

中島 紀子 殿

あなたは永年にわたり大工棟梁として
多くの文化財の保存修理に携わると
ともに後進の育成にも努め我が国の
文化財保護に多大な貢献をされました
ここにその功績をたたえ表彰します

令和七年十二月十七日

文化庁長官 都倉 俊一

